

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

524

令和7年6月5日現在

①	ふりがな 氏名	きのした かずなり 木下 一成				
④	所属先	株式会社 一成				
	役職名	代表取締役会長				
⑥	専門分野 ※該当に✓を記入	☒ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☒ 周辺環境整備 ☒ 地域合意形成 ☒ データに基づく計画立案 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☒ ICT機器の活用（捕獲通知等） ☒ 処理（焼却・減容化） ☒ その他（ 利活用 ）				
⑦	対象鳥獣 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☒ イノシシ ☒ サル ☒ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☒ ハクビシン ☒ アライグマ ☒ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）				
⑧	対応可能地域 ※該当に✓を記入	☒ 全国 ☐ 北海道 ☐ 東北 ☐ 関東 ☐ 北陸 ☐ 東海 ☐ 近畿 ☐ 中国 ☐ 四国 ☐ 九州 ☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（ ）				
⑨	免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入	☒ 狩猟免許（銃：取得年 S・H・R 年、わな：H 23 年） ☐ 鳥獣プロデーターバンク ☐ 鳥獣保護管理プランナー ☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター ☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター ☐ 鳥獣管理士（ ）級 ☒ ジビエ利活用コーディネーター ☐ その他（ ）				

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

524

令和7年6月5日現在

⑫活動実績	
活動期間	令和4年8月～令和7年3月
地域	兵庫県内
対策の種類 ※該当に✓を記入	☒ 捕獲手法 ☒ 侵入防止技術 ☒ 周辺環境整備 ☒ 地域合意形成 ☒ データに基づく計画立案 ☒ 野生動物管理（生息調査含む） ☒ ICT機器の活用（捕獲通知等） ☐ 処理（焼却・減容化） ☐ その他（ ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☒ イノシシ ☒ サル ☒ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☒ ハクビシン ☒ アライグマ ☒ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）
活動の内容	鳥獣被害対策を実施している地域の住民とともに、被害状況を確認し、箱わなやICTを活用した囲いわなの巡回に同行。出沒対策や捕獲技術向上のための指導を行いました。 分かりやすく伝わる説明を心がけ、防護柵の設置方法や集落環境の整備など、総合的な鳥獣被害対策についての指導も実施しました。

⑫活動実績	
活動期間	令和4年8月～令和7年3月
地域	全国
対策の種類 ※該当に✓を記入	☒ 捕獲手法 ☐ 侵入防止技術 ☐ 周辺環境整備 ☐ 地域合意形成 ☐ データに基づく計画立案 ☐ 野生動物管理（生息調査含む） ☐ ICT機器の活用（捕獲通知等） ☒ 処理（焼却・減容化） ☒ その他（ 利活用 ）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☒ シカ ☒ イノシシ ☐ サル ☐ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン ☐ アライグマ ☐ アナグマ ☐ カラス ☐ カモ ☐ ヒヨドリ ☐ スズメ ☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（ ）
活動の内容	全国各地でジビエに関する衛生管理や販売促進等、総合的な内容を伝えるセミナーを企画・運営しました。 このセミナーでは、ジビエの安全な処理・流通のための衛生管理基準や適切な加工方法、法規制について詳しく解説しました。また、現場目線でのジビエの課題解決にむけ、ジビエを地域資源として活用するためのビジネスモデルや成功事例を共有しました。 さらに、参加者とのディスカッションを通じて、各地域の課題やニーズを把握し、実践的な解決策を提案しました。